

## あ と が き

激動の1991年はソビエト連邦の崩壊という、文字通り劇的なフィナーレによってその幕が降ろされました。続く1992年も昨年に増して大いなる変革の年となることでしょう。

「転換期に立つ医学」の標語は最早単なる合言葉ではなく、大きなうねりとなり現実の医学会に押し寄せ、それは加速度的にそのスピードを増す感さえ致します。この様な1992年の新年号に中嶋 宏 WHO 事務総長の巻頭言が戴けましたことは、誠に時期を得たものと思われまふ。文中“Think globally, act locally”と述べられておりますが、湾岸戦争の石油の炎上や、他国の工業化の影響が我々の環境に反映される今日、健康問題は勿論のこと、我々の日々の医学教育、社会への実践応用、全てグローバルな視点に立たなければ成立し得ない状況となりつつあります。研究面に於いても、単なる海外での学会発表に留らず、我々の日々の研究生活の中での国際交

流が好むと好まざるとにかかわらず、要求される様になりました。

一方、中嶋先生は“Epidemiological transition”として疾病構造の変化について言及されておられますが、今日の高齢化社会に於いては、疾病概念そのものが変わりつつあることを感じます。

この様な医学界の大きな変動の時に、中嶋先生はWHO 事務総長として、気の遠くなる様なハード・スケジュールの中で、世界中を駆け巡っておられます。明年1993年は、WHO 事務総長改選の年です。我々はその再選を信じ、次期もますます御活躍いただきます様、心よりお祈り申し上げるとともに、世界の厚生大臣として先生の理想を21世紀に向けてぜひとも実現していただきたいと思っております。

(岩根久夫 記)

## 幹事会 (要旨) (平成3年11月)

1. 新役員が第128回医学会総会(11月2日開催)で承認されたことが報告された。
2. 第128回医学会総会は、特別講演2題、またシンポジウムは「画像医学における新しい診断技術」と題し、放射線医学教室、生化学教室の当番で開催されたことが報告された。
3. 臨床懇話会の報告があった。
4. 第214回：泌尿器科学 (3.10.31)  
第215回：内科学第二 (3.11.26)  
第216回：整形外科学 (3.12.12 予定)
4. 48巻特別号の掲載結果について種々討議した。この内容については、次回業績目録委員会で再検討することとなった。

## 編集委員会

三 輪 哲 郎 (会 長)  
登 坂 恒 夫 (副 会 長)  
三 浦 幸 雄 ( “ )  
岩 根 久 夫 (庶務幹事)  
小 柳 泰 久 ( “ )  
渋谷 健 (編集幹事)  
高山 雅 臣 ( “ )  
友 田 輝 夫 (会計幹事)  
山 澤 靖 宏 ( “ )  
伊 東 洋 (委 員)  
白 井 正 彦 ( “ )  
内 野 善 生 ( “ )  
加 藤 治 文 ( “ )  
古 賀 道 之 ( “ )  
斎 藤 利 彦 ( “ )  
小 林 春 雄 ( “ )  
林 徹 ( “ )  
藤 波 襄 二 (監 事)  
内 田 安 信 ( “ )  
J. Patrick Barron (英文校閲者)

平成3年12月20日 印刷

平成4年1月1日 発行

東京医科大学雑誌 第50巻 第1号

発行者 三 輪 哲 郎

発行所 東京医科大学医学会

(東京医科大学総務部企画調査課内)

東京都新宿区新宿6-1-1

TEL (3351) 6141 (代)

印刷所 共立印刷株式会社

東京都中央区新川2-23-9

TEL (3551) 9891 (代)